

青梅市社会教育委員会 1 月定例会会議録

日 時

令和 7 年 1 月 2 1 日 午後 7 時から午後 7 時 5 0 分まで

会 場

市役所 2 階 2 0 1 会議室

出席者

(委員)

宮野委員、吉野委員、塚田委員、神山委員、市川委員、築地委員、
鈴木委員、鶴岡委員、白井委員、園田委員

(事務局)

平岡課長、柘植係長、橋本主任

1 開 会

(委員) 二十歳を祝う会は近年になく落ち着いた式典だった。議題にもあるので後ほど意見を聴きたい。

(課長) 二十歳を祝う会に御出席いただきありがとうございました、今年もよろしくお願いします。二十歳を祝う会について、後ほど御意見を伺いますが、私自身の感想としては最近の子は素直だと感じました。

2 報告事項

- (1) 令和 6 年度東京都市町村社会教育委員連絡協議会交流大会・社会教員委員研修会について (報告資料 1)

ア 日 時 令和 6 年 1 2 月 1 4 日 (土)

午後 1 時 3 0 分から午後 4 時 5 分まで

イ 場 所 町田市民フォーラム 3 階ホール

ウ 内 容 式典、各ブロック研修会実施報告、講演

エ 出席者

宮野	吉野	塚田	神山	市川	築地	鈴木	鶴岡	白井	園田
×	×	×	○	○	○	×	×	×	×

随行 橋本

(事務局説明)

(委員) 参加者の感想を聴きたい。

(委員) 各ブロックからの報告、他のブロックの意見を聞けるのは良いが、それだけで終わりなのはどうかと思った。社教連の検討部会で助成事業をどんな形にすべきかと話している。都市社連協は幹部が持ち回りで毎年変わっているので実績の積み立ては難しいと思うこともある。

(委員) 各ブロックの報告があったが、第 1 ブロックは他と比べて参加者が

多く良いことだと思う。町田市の国際交流センターのスペースは広がった、青梅市でも活発になると良い。学校・地域の重要性を感じた。
(委員) 各ブロックいろいろな視点で活動していて、社会教育は分野が広いと思った。住民福祉の一環で社会教育もあると思う。

- (2) 「令和7年成人の日 青梅市二十歳を祝う会」について（報告資料2）
(事務局) 昨年より対象者は増加しましたが、出席率は低くなっていますが、これはインフルエンザ等の流行によるものと思われます。
- (委員) 参加者がおとなしいのは、全国ネットで拡散し、家族にも迷惑になることを自覚している人が増えたからと思う。西多摩地区では青梅市のみ対象者が増えたようだが、近い未来には1000人以下となることが予想され、今年度生まれた子どもが二十歳になるときの出席者を考えると少し不安に思う。また、ふと10年ほど前の成人式は雪だったことを思い出したが、今年は天気が良くて良かった。
- (委員) 拍子が抜けるほどおとなしい式であった。これは青梅だけではないが新型コロナの影響で交わらない子供が増えたのではないかと思われる。とはいえ引きこもりというわけではなく和やかになっているとも言える。ビデオレターは各校個性あり良い企画だと思うので、今後も続けていただきたい。
- (委員) 去年に比べても静かで、着物のマナーについてはアナウンスがあったらショールをみんな外すなど良かった。ただ式が終了した後はどうだったかなと思っている。
- (委員) 自らの成人式以来の参加で、今はこのような感じなのかと思った。
- (委員) 子どもたちは落ち着いていた。始まる前の広場の様子は和やかで、今までは幟旗があったが今年は見当たらなかった。ビデオレターは良いと思った。
- (委員) 今回はお天気が良かった、また去年よりおとなしく感じた。10年ほど前に保護者として参加したときには舞台上上がる子もいたのを思い出すと隔世の感がある。ビデオレターの声がボリュームが小さくて聞きとりづらく感じた。駐車場について、去年は若干混雑していたが今年は改善されていた。
- (委員) 参加者がおとなしいのは、学生時代がずっと新型コロナによる抑制の期間であったことの影響があると思う。このことで世間に慣れるのが難しくなりそうで少し心配に思っている。ビデオレターは良いと思った。
- (委員) ビデオレターで沸くこともあったが、ほとんど静かだった。やはりコロナの影響が大きいのかと感じた。主催者として、もっと印象に残る式典にできないかなと思った。市長のあいさつは昨年と変わらず前向きで参加者の記憶に残るあいさつだと思った。
- (委員) 静かな式典だった。初めて運営側で参加したときは舞台上上がる参

加者もいて青少年委員が阻止するために舞台についていた。また、その頃は預かったお酒がテーブルいっぱいになるほどだった。最近の参加者はおとなしくなったので、講演などを入れても良いと思う。前列に座っていた参加者から音が小さかったと言われ、自分が来賓席で聞いていてもそう感じた。

(委員) 皆さんの言われているとおりと思う。新成人は毎年前向きな人がいる、今後ともそのような人たちが出てきてほしいと思う。参加者が一番楽しみにしているのは同級会だと思う、そのなかでこちらが何を用意するかは一步引いて考えて良いと思う。

(委員) この式典が終わった時期に、小学校にタイムカプセルの依頼が来る。今回の分のタイムカプセルを開ける映像は良かったと思う。ビデオレターについて、参加者の中学卒業後6年経過しているので、もう青梅に居ない先生もいると思う。他市の例だと、2部制にして第2部の席に当時の教員を呼ぶなどしているところもあるようだ。

(委員) 参加率が下がったとのことだが、それでも青梅市は他市と比べて参加率が高い。これは参加者の意識が高いのだと思う。

(3) 生涯学習事業実施予定・結果

(報告資料3)

(事務局説明)

(委員) 文化課で青梅線開通130年記念特別展を開催したが、その資料を拝見したところ、金銭的なことを含めて当時の人たちの熱意を強く感じた。

(委員) 郷土博物館が4月1日から休館になると聞き、寂しく思う。

(4) その他

(委員) 放課後子ども教室運営委員会が12月23日にあったので報告したい。夕やけランドについて、学校の在籍者数は減っているが、利用者が増えている。また、担い手は減っていて、高齢化も進んでいる。企業の協力が進んでいるが、コーディネーターがいない、人材の確保が問題である。

次回は3月に開催予定。

3 協議事項

(1) 青梅市社会教育委員会議11月定例会会議録について (協議資料1)

(事務局説明)

原案承認

(2) 令和6年度社会教育委員活動記録作成にかかる原稿の提出について
(協議資料2)

(事務局説明)

事務局原案から特に変更なし

(3) 『社教情報』購入希望調査 (協議資料3)

宮野	吉野	塚田	神山	市川	築地	鈴木	鶴岡	白井	園田
○	○	×	×	○	○	×	○	○	×

届いた次の定例会で希望者に配布予定

(4) その他

特になし

4 その他

配布資料

- ・社教連会報
- ・「青梅市の社会教育」令和5年度版
- ・令和6年度 第六次青梅市生涯学習推進計画進捗状況報告書
- ・青梅市子ども読書活動推進事業報告書
- ・生涯学習だより
- ・青少年委員だより「みらい」
- ・とうきょうの地域教育
- ・郷土博物館からのお知らせ

次回定例会 2月18日(火) 午後7時～ 203会議室